

## 2015年 日韓親善交流事業（韓国・忠州湖カップ参加）報告

団長 藤井範久（強化委員）

選手4名（男子1×2名・女子2×2名）・スタッフ3名の計7名の選手団での交流。

仁川空港からバスで約3時間、会場のチュンジュ「忠州」は韓国のほぼ「中心」に位置し、りんごの産地としても有名で、道端にも沢山のりんごの木を見ることが出来る。

私と稲垣コーチはアジアジュニア大会（2007年）で訪れた事もあったが、当時の面影こそ残ってはいるが、大きく変容した素晴らしい会場に唖然とした。

当時と同じく、川幅が広いわりには風が吹いても荒れることは少なく素晴らしいコースだ。

会場から車で15分程の所にホテル（グランドホテル）があり、ボランティア通訳の金（キムナヨン）さんが、レンタカーでの送り迎えをしてくださった。

常時帯同していただき、早朝練習を希望するクルーにも車を出していただき、全てにおいて最高のサポートしていただいた。



ここ数年、韓国のジュニアチームは男女ともますますの安定した強さを見せていたが、今回の様に参加クルーの少ない忠州湖カップでも上位の男子選手はかなり高いパフォーマンスを見せていた。

この交流事業は4年目を迎えました。

2012年全日本ジュニア選手権大会が「第10回記念大会」という事で、主に菊池市が費用を捻出して韓国ジュニアチームを招聘していただいた事から始まりました。



翌年の2013年は韓国側からの招待、代表でシニアチームが参加し、昨年は来ていただく年で、アジアカップIに招待。

本年は2回目の韓国側からの招待で、2013年同様、艇の準備や食事を含めあらゆる面で最大級のおもてなしをしていただいた。横断幕や賞状、メダルに至るまで準備していただき、選手たちには最高の交流・経験になりました。

招待していただいた韓国ボート協会に心から感謝致します。

さて、この交流事業も含めアジアジュニア大会遠征で、私自身少し逡巡しながらも「日本がアジアのボート界をリードしている」と言い（思い？）続けてきました。

確かにアジアではメダルを獲る事は出来ています。しかしながら、ここ数年の遠征では、今や他国から学ぶことは多く、施設面を含め大きく先を越されているようにも感じます。

この現状を、どうすることも出来ない口惜しさとやるせない思いでまた帰国します。

2020年に向け、日本のボート界はどのような変化を遂げるのでしょうか？

今回の交流では、韓国ボート協会の心からのおもてなしに感謝をし、来年はそれにお応えしなければならないと強く感じました。

今後、アジア・世界各国とどのようなお付き合いさせていただくのか、国際委員会のみならず、日本ボート協会全体で取り組んでいきたいものです。

来年、この交流親善事業で日本ボート協会はどの時期、どの会場で、どのようなHospitalityで韓国チームをお迎えする事が出来るのかが楽しみです。



## 中村剛 JARA国際委員会スタッフのレポート

\*韓国ソウル駐在の中村氏が、支援の為、忠州に駆けつけてくれましたので、そのレポートも掲載します。

### 1) 日程・宿泊・移動・レンタルボートなど

- ・ 日程：4月25日(土)–30日(木) (レースは27–29日)
- ・ 宿泊ホテル：忠州 Grand Hotel 宿泊費用はダブルルームで55,000KRW–70,000KRW/泊程度 (韓国漕艇協会が割引交渉して多少安くなっているようです)。
- ・ 仁川空港～忠州の移動は韓国ボート代表専用のマイクロバス、忠州市内はレンタカーのワンボックスカー。
- ・ 船は全てEmpacher。韓国代表が以前使用していたもの。工具貸与・靴の交換なども対応して頂きました。

### 2) 韓国側担当者

- ・ 交流事業責任者：韓国ジュニア代表監督のHyun, Moon-sik氏が、仁川空港での出迎え・昼食・夕食など同行対応。
- ・ 仁川–忠州のマイクロバス運転・レンタルボートに関する対応：韓国代表コーチが対応。
- ・ 通訳：キムナヨン氏(今回ボランティア。前回のアジア大会などでもボランティアとして通訳をしていたそうです。次回のユニバーシアードでも応募。  
選手団のホテルからコースまでの送迎・食事など、早朝から夜までワンボックスカーの運転をしながら帯同していただきました)

### 3) その他

- ・ 代表者会議・パーティー：26日に大会参加チームの代表と韓国漕艇協会関係者と香港のMike Tanner氏(\*FISAのExecutive Committee Council Representativeでもある)が参加された。2015年7月韓国で行われるユニバーシアード大会関係のため来韓された模様。人数は60–70人程度。ビュッフェスタイル。

藤井先生は韓国語で挨拶を準備されており、好評だったと思います。

- ・ 韓国漕艇協会関係者との会食：28日の夕食。(私は参加していません)
- ・ 表彰式で藤井先生が男子スカル1種目でメダル授与のプレゼンターを行いました。
- ・ 韓日親善試合の特別メダルが各選手に授与されました。
- ・ 韓日親善試合の横断幕が作成されており、それを持って記念写真撮影。

以上、宜しくお願いいたします。

